

初等部

2021年度「学びの発表会」について

自由学園初等部 田嶋健人

本稿では、2021年度に実施した初等部「学びの発表会」について概要を記す。初等部ではこれまで2年に1度の発表会を実施してきた。近年はこの学びの発表会の在り方について初等部内で議論し、研修・実践を重ねてきた。これまでの経緯を記述しつつ、今回の学びの発表会で重点的に実施してきたことについて記述するとともに、子どもの姿から見えてきた会の成果と課題について明らかにする。

1 「学びの発表会」について

本稿では2021年度に実施した「学びの発表会」について報告する。今回の学びの発表会についてだけでなく、学びの発表会がどのように変化し、実施されてきたのか簡潔に記述する。さらに、新型コロナウイルスの流行下において実施した今回の学びの発表会における成果と課題を示すとともに、子どもたちの学習の様子を紹介する。

1-1 「学びの発表会」の沿革

初等部では2015年度まで、2年に1度、児童の学習の成果を発表する場として「勉強報告会」を実施してきた。

現代社会は知識・情報・技術をめぐる変化の速さが加速度的となり、目まぐるしく社会が変化し続ける時代が到来していると言われている。学校教育においても、ICT機器の導入、AI活用など、この変化に対応しようと様々な取り組みがなされている。このような社会情勢においては、子どもたちに求められる資質・能力も大きく変化している。

初等部でも、現状の勉強報告会を維持し続けるのではなく、学習・発表方法について改善を目指し、検討を重ねてきた。一方、時代の潮流に合わせるだけでなく、自由学園として、子どもたちに身につけさせたい資質・能力について明確にするため、改めて議論を重ね、新しい「勉強報告会」の形式を模索してきた。

2017年度には「土と育つ子どもたち」というテーマで、発表方法の改善に取り組んだ。自由学園ではこれまで各学年で野菜栽培を畑の土壌改善から収穫・食するところまで一貫して行い、教科横断的に取り組んできた歴史がある。そのような初等部の子どもたちにとって身近な存在である畑を共通のテーマとしつつ、これまで学校で統一していた発表方法を劇・ポスター・歌(児童による作詩)など多様な方法から適切なものを子どもたちが選択するという形とし

た。発表方法を選ぶということも学習の一環であると捉え、発表会までに学習内容だけでなく、発表方法についても子どもたちが考え、選択・作成することができた。

2年後の2019年度には「学びの発表会」と会の名称を変え実施した。学校全体で学習テーマを「畑」にしぼりこんだ前回の会に比べ、学習テーマを決定する段階から子どもたちに任せ、考えられるよう意識して実践を行った。テーマについては教師からある程度の内容を提示しつつも、子どもたちが自身の興味に気づいたり、考えたりしながら、学習が進められるような働きかけを試行錯誤した。また、これまでのように保護者に参観していただくだけでなく、教育関係者の方も会に招待し、実践を見ていただける機会を設けた。発表会終了後には実践検討会を実施するなど、広く意見を集め、さらなる会の改善に努めた。

このように、これまで行われてきた初等部の教育や勉強報告会のよさを継承しつつも、それにとどまることなく、さらにより発表会になるようにと検討改善を繰り返しつつ、2021年度の学びの発表会を迎えることとなった。

またこの改善の間に、私立・公立問わず様々な学校の授業を見学させていただくことや、宿泊を伴う研修、講師を招いての校内研修、研究授業の実施などを並行して続けてきた。新たな形の学びの発表会を志向するだけでなく、指導するための専門性向上にも、初等部全体で努めてきた。

1-2 2021年度「学びの発表会」について

このような沿革を経て実施した2021年度学びの発表会では、①子どもたち個別の興味・関心や主体性をこれまで以上に大切にすること②コロナ禍で失われてきた協働的な学びを実施する。以上2つの視点から、改善に取り組んだ。

①子どもたち個別の興味・関心や主体性をこれまで以上に大切にすること。

ここ数年の学びの発表会から、子どもたちが他者から促されたり、指示されたりすることなく、自身の興味・関心に突き動かされるように、夢中になって発表へ向けた準備をすすめたり、発表したりする様子が見られるようになった。これは改善の方向性が間違っていないことを確信させるものであった。一方で、30人前後が在籍するのクラスにおいて個々の子どもたちの主体性を引き出すこと、興味関心の持てるテーマの発見を教師が手伝い、いきいきと活動させることの難しさにも直面してきた。

これまでの経験から、2021年度の学びの発表会では改めて子どもを学びの中心に置き、子どもたち個別の興味関心を引き出し、主体的に取り組める学習環境の整備を重視していくこととした。これまでの発表会を改善してきた方向性をさらに推進するという方針である。

②コロナ禍で失われてきた協働的な学びを実施する。

2021年度は、前年度の新型コロナウイルス流行による休校から少しずつ日常の学校生活を取り戻していこうとしている年でもあった。社会においては緊急事態宣言が、学校では学級閉鎖などが頻発するような状況であったが、初等部においては、感染症対策によって失われてしまった、子ども同士が異なる意見や考えを出し合い、協力しながら物事に取り組む協働的な学びの必要性をあらためて感じ、教師たちはそれらの学習が失われてしまったことに対する危機感を覚えていた。

このような社会情勢、初等部内の危機感を受けて、2021年度初等部年間教育目標を「楽しく学ぶ」と定め、学びの発表会はもちろん、普段の授業、生活の中で子どもたちが主体的、協働的に取り組む力をつけていけるような教育活動を展開することに重点を置くことを確認し、新年度を迎えることとなった。

2 児童の様子 準備から発表会当日まで

2-1 発表会へ向けた学習の様子

先述したように、各学年が子どもたち個々の興味・関心を引き出すことに留意しつつ、テーマの設定を行った。子どもの興味・関心に沿ったテーマ設定をするにあたって、これまでの学習経験やその学年に実施される校外学習、畑や飼育動物など子どもの周辺環境に基づいたり、学齢の成長段階に合わせたり、幅を持たせたテーマを設定し、その中で個々の興味・関心に合わせた選択を可能にしたりと、多様な工夫をした上で各学年が学びをスタートした。

また、「学びの発表会」と連動して、そこで必要となる調

査する力、わかりやすくまとめる力、文を書く力、情報を整理する情報処理力など、例を挙げればきりがないが、調査・発表をする際には必要な資質・能力を他教科においても育てていくことを念頭に置きつつ実践をしてきた。さらに、学習面の資質・能力だけにとどまらず、他者と協働する態度を育む、学びの過程で相手の意見を尊重できるようにする、といった人間性についても発表会へ向けた学びの過程や学級の中で常に育てていくことが意識されたことも重要だと考えられる。

2-2 発表会当日の様子

発表会当日を迎えるまでには、発表会の形式についてもこれまでの取り組みと同様に今年度目指した「個別の興味・関心や主体性を大切にする」とことと照らして適切な方法を様々な可能性の中から検討してきた。本来であれば子どもの学習の内容や、軌跡、意欲などを考慮して発表方法を選択させたいところだったが、当時は新型コロナウイルスの感染状況や社会情勢についても考慮しなければならなかった。児童の発表の多様性を維持しつつも感染対策を実施するため、1学年の発表に対して聴衆は該当学年の保護者(各家庭1名)と他学年の児童(1学年)のみと人数を制限し、場所は人と人との距離を保つため体育館とした。広いスペースを確保し、そこを1学年(30から40名程度)が発表として使用することで、ポスター、工作物の設置、劇、ワークショップなどを実施するための距離を確保することと、各学年の状況に応じて幅広い場づくりができるように留意した。また同時に広いスペースがあり発表者同士が距離をとれるよう工夫することで対話を通して学ぶ、「協働的な学び」の場が発表会中にも生まれることを意識した。発表会もあくまで学びの一環として設定し、一方的に調べたことを伝達するだけに終わることなく、聞き手である大人や子どもとの対話を通して自身の発表がさらに深まるよう意識付けが全学年で徹底されていたことも付言したい。

3 学びの発表会の成果と課題

3-1 成果

今回実施した学びの発表会の成果として以下の2点を挙げたい。

①課題設定のもと、教職員間の意見交流・研修の機会を持つことができた。

今回の学びの発表会では子ども一人一人の興味関心に向き合い、協働的な学びを実施しようと取り組んだ。教師や

学校の都合ありきではなく、子どもの興味・関心を出発点とする意識を持って教師が指導に当たることができた。また、目標の達成に向けて学外、学内での多くの研修会、授業検討会へ参加、実施をし、教師も学びを深めることもできた。こうして教師の技術・技能が向上することは発表会後も普通の授業や生徒指導の中で子どもに還元されることだろう。

②子どもたちが発表会へ向けた学びを楽しむ姿が見られた。

いわゆる「発表会」と言うものに対するイメージは子どもにとって「楽しい」というだけのものではない。ステージへ上がり多くの聴衆の中で発表をすることは、成長、学びにつながるよい機会であるが、一方、一度きりの発表会で、多くの聴衆の前では緊張し、自分の力が発揮できない子どもがいることも確かだ。しかし、多くの学年で前日からのリハーサル、発表の共有がクラス内で充分行われたこと、発表会の中で何度も発表のチャンスがあり、発表会を通して対話し学ぶデザインになっていたことで子どもが発表会そのものを楽しんでいる様子が見られたことは収穫だった。また子どもたちの振り返りから、発表会中に何度も発表する→感想を聞く、というサイクルを繰り返すことで得た学びが次の問いや興味関心を引き出すことにもつながっている様子が見られた。一回きりの学びではなく、発表会そのものも学びの一環として取り込み、学びを継続させることで、子どもが学びの楽しさを味わうことにもつながっていたのではないかと考える。

3-2 課題

今回の発表会を受けて、今後取り組むべき課題として2点を挙げたい。

①発表会を2年に一度のイベント的にするのではなく、普段の授業の中で継続的に実施していくこと。

今回の学びの発表会では発表会へ向けた学びの中で主体性、協働的といった言葉をキーワードに研究、実践を行った。今後は教師である私たちがこの研究、実践から得た学びを普段の授業にも還元していくことが重要と考える。

現在、初等部においては学習発表会を2年に1度のペースで実施しているが、今後は発表会のある年度だけでなく、普段の教科や学びの発表会を実施しない年度においても主体性、協働的な授業を展開、実践をしていく必要がある。また、2年に1度の実施でなく、発表会という形ではなくとも、毎年度継続的に学習を発表する機会や子どもが

自身の興味・関心を基にして学習を楽しむ機会を作っていくことも重要だろう。

②地域、学内連携の可能性を探ること。

自由学園は東京都東久留米市に位置づく学校である。自由学園内はもちろん、周辺は川、竹林、畑、など学習資源にあふれている。自然だけでなく、工場、公共施設なども点在しており、これらの施設を活かした学習を展開し、子どもたちが実物に触れる機会を提供する必要であろう。また、自由学園内の中高等科、大学部とも連携することも可能だ。生徒、教職員と派遣などはもちろん、那須農場、名栗・海山の植林地など興味・関心に合わせて活用できる施設も保有している。子どもたちの興味関心に合わせ、それをさらに広げられるような取り組みができるだろう。

学内にとどまらず、子どもの学習の様子を地域に公開していくことは、初等部の様子を知っていただく機会になるとともに、私たち教員にとっても意見を頂戴できる貴重な機会となるだろう。これまでも初等部では実物を活かした学びを実施してきたが、発表会に向けた学びの中でさらに積極的に外部の教育資源を活用していく意識を教師が持つ必要がある。

4 まとめ

以上、2021年度に行った学びの概要と成果・課題について述べた。2年に一度の学びの発表会ではあるが、今後も発表会ごとに教師の研修、改善を繰り返しつつ、子どもの学びを中心においた発表会の在り方を模索しながら進化させていきたいと考えている。

資料1:学びの発表会 保護者へのお知らせ

資料2:学びの発表会プログラム・見学シート

資料1

初等部保護者の皆様

学びの発表会について

学園の木々も枝先から少しずつ色づいてきました。

子どもたちは学びの発表会に向かって張り切っています。コロナの影響で見学が制限されたり外出できなかったりしましたが、改めて学園の中に目を向けると豊かな学習素材があることに気づきました。子どもたちが見つけた疑問や自分たちで考えたことの発表を参観していただき、子どもたちに質問をして学びを深める伴走者になってください。そして、この学びがこれからの成長につながるようにお力添えくださいますようお願いいたします。

発表時間は学年によって異なりますのでご確認のうえご参加ください。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、参加は各家庭より保護者 1 名に限らせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

初等部長 佐藤有子

日 時：2021 年 12 月 4 日（土）

発表時間：【1 年】8：40～9：20 【2 年】9：40～10：20 【3 年】10：40～11：20
【4 年】11：40～12：20 【5 年】12：40～13：20 【6 年】13：40～14：20

※発表開始時刻の 20 分前に開場します。

会場の混雑を避けるため、開場時刻までは学年の展示をご覧になってお待ちください。発表終了後に展示されるものもあります。

展示会場	1.2 年：小ホール	3 年：多目的室	4 年：音楽室	5.6 年：食堂
------	------------	----------	---------	----------

発表会場：体育館

受 付：第三校舎入口（入り口で検温・手洗いをしてからご入場ください）

出 口：体育館後方窓側

持 ち 物：上履き、外履き入れ、入校証

来校の際の注意事項

①来校 2 週間前から検温と体調を記録してください。（提出不要）

②前日の夜と当日の朝、下記の場合は来校をお控えください。

- 37.3 度以上の熱がある場合。
- 風邪症状（咳、だるさ、頭痛、下痢など）体に不調がある場合。
- 同居者の中に発熱または風邪症状がある場合。同居者に新型コロナウイルスの感染者、または感染の恐れのある方がいる場合。
- 前夜に発熱（37.3 度以上）や体調不良、発熱等風邪症状があった場合は、体温が 36 度台になり、すべての症状がなくなり、24～72 時間経過してから来校されますようお願いいたします。
- 保護者の健康観察についても児童に準じます。

③学園内では、マスクの着用をお願いいたします。

2021 年 11 月 25 日

各学年のテーマ（子どもからのメッセージ）

1 年 「一年のはらむら～しらべて つたえよう～」	にゆうがくしてからいまままでにであった、しょうぶのいきものをしょうかいします。たのしんできいてください。
2 年 「わたしたちの自由学園初等部」	2 年生の考える自由学園初等部について発表します。一人一人が初等部について深く考えました。ぜひ聞きに来てください。
3 年 「ウサギについて学ぶ」	ウサギについて総合的に学び、ウサギを今まで以上に知ることがゴールです。子ども達の学びの過程と今後に注目して当日、お越しください。
4 年 「私と水」	水について学習してきたことを劇にしたりグループに分かれて発表したりします。一生懸命準備したので、じっくり見ていってください。
5 年「食について深く考える」	社会科や『食の元を探る』から広がっていった探求学習です。色々なテーマがあるので楽しみにしててください。
6 年 「戦争と平和～戦時中の社会の様子 当時の学園の様子～」	私たちは戦争について広く学び、考えてきました。張り切って協力しながら準備してきました。ぜひ見に来てください。



5 年生 自由学園の葉っぱ

当日の注意事項

- 各学年、発表形式が異なります。会場での案内をよくお聞きの上ご参観ください。
- 子どもの発表が終わるまで席を立たないように協力をお願いいたします。
- 感想・質問等はぜひその場で子どもたちに伝えてください。質疑応答も子どもたちの大切な学習となります。
- 発表の動画撮影はご遠慮ください。写真につきましては、作品・ポスターに限り撮影を許可しますが、発表中や個人の特定できるようなものはご遠慮ください。また、写真の SNS への掲載は固くお断りします。
- 発表会の様子は学校の依頼したカメラマンが撮影し写真・DVD を後日販売いたします。

2021年12月4日(土)

自由学園初等部体育館

学びの発表会 プログラム

1年生 「一年のはらむら～しらべてつたえよう～」

時間 8:40～9:20

ひとこと にゅうがくしてからいままではあった、しょうぶのいきものをしょうかいします。
たのしんできてください。

2年生 「わたしたちの自由学園初等部」

時間 9:40～10:20

ひとこと 2年生の考える自由学園初等部について発表します。
一人一人が初等部について深く考えました。ぜひ聞きにきてください。

3年生 「ウサギについて学ぶ」

時間 10:40～11:20

ひとこと ウサギについて総合的に学び、ウサギを今まで以上に知ることがゴールです。
子どもたちの学びの過程と今後に注目して当日、お越しく下さい。

4年生 「私と水」

時間 11:40～12:20

ひとこと 水について学習してきたことを劇にしたりグループに分かれて発表したりします。
一生懸命準備したので、じっくり見ていってください。

5年生 「食について深く考える」

時間 12:40～13:20

ひとこと 社会科や『食の元を探る』から広がっていった探求学習です。
色々なテーマがあるので楽しみにしててください。

6年生 「戦争と平和～戦時中の社会の様子、当時の学園の様子～」

時間 13:40～14:20

ひとこと 私たちは戦争について広く学び、考えてきました。
張り切って協力しながら準備してきました。ぜひ見に来てください。

学びの発表会 見学シート

____年 なまえ_____

聞き方

- ① 発表は最後まできこう。
- ② 分からないことは質問しよう。

見方

- ① 走ったり、さわいだりしないで見よう。
- ② なるべくたくさんの発表を見よう。

聞いたり、見たりした 感想・疑問などを 相手に伝えよう。

- 聞いたこと、心に残ったこと、疑問に思ったこと、感想などを書きましょう。